復興大学「3.11伝承ロード視察研修会」

学都仙台コンソーシアムの一環として運営されている「復興大学」では、毎年一般社会人や学生を対象に様々な公開講座を開講されています。
今年は、特に学生をメインに、岩手県の震災伝承施設を巡りながら、震災伝承の取り組み、地域の復興の様子、様々な施設の地域における役割を学ぶ「3.11伝承ロード視察研修会」を実施しました。
3.11伝承ロード推進機構では、その視察行程の作成、語り部のご紹介など、研修会がより学びの深いものになるようお手伝いさせていただきました。

【概要】
期　日：令和2年2月7日（金）、8日（土）
対　象：学生及び教職員　24名
参加費：無料（事務局負担）

【伝承機構の関わり】
1）行程作成補助
2）見学施設紹介、仮予約
3）講師及び語り部紹介、調整、仮予約
4）昼食先紹介
5）DVD「未来に向けて～防災を考える」貸出

行程表（1日目）

時　間	行　程
8：50	仙台駅東口集合
9：00	仙台駅出発 三陸道経由、「道の駅三滝堂」にて休息
12：00～	【道の駅高田松原】昼食（各自） 津波復興祈念公園は各自、自由見学（往復15分程度）
13：15 ～14：20	【東日本大震災津波伝承館】 見学13：20～（60分）館内スタッフによる展示解説
	休憩10分
14：30 ～15：20	【道の駅高田松原】講義（50分） 対応：陸前高田市観光交流課　村上様 ・「道の駅高田松原」の地域における役割について
15：30	陸前高田出発（三陸道経由、「道の駅さんりく」にて休憩）
17：30	宮古市内宿泊所到着

行程表（2日目）

時　間	行　程
8：30	宿泊先出発
9：00 ～11：00	【道の駅たろう】潮風ステーション　到着 ・学ぶ防災ガイド合流 ・ガイド2時間コース（ガイド料1万円
	移動（６０分）
12：00～	【うのすまいトモス】昼食（各自） 「いのちをつなぐ未来館」他、各自見学
	移動（徒歩約15分）
13：10	【釜石鵜住居復興スタジアム】西側駐車場　各自集合
13：15 ～13：45	【釜石鵜住居復興スタジアム】 ・スタジアムスタッフによる解説あり
	移動
	【道の駅遠野風の丘】 ・災害拠点、復興拠点でもある道の駅を見学、休憩
	東北道経由　（前沢SAにて休憩）
18：00	仙台駅到着

復興大学「3.11伝承ロード視察研修会」

【感　想】

≪参加者（アンケート一部抜粋）≫

- 「陸前高田の伝承館にもう一度、家族で行きたい。」
- 道の駅と公園、伝承館のコンセプトについての説明を聞き、素晴らしいと感じた
- 被災した企業がどのような過程を経て、どのくらい再建しているのか知りたい。
- 今回は岩手方面の津波災害を学んだ、次は福島方面で原発事故に関して見学したい。
- 座学だけでなく、現地を見ることで学びが深まった
- 初めて宮城県以外の被災地を見学し、共通点や違いを見ることができた。

≪事務局≫

- 次回はさらに具体的な学びを深めるため、見学個所を減らし、住民と関わる時間を取り入れたい。
- 遺構として残す伝承館（気仙沼等）と、何もなくなったところから整備された伝承館（陸高）の違いを学べるコースもあるとよい。
- 学生が得た学びをアウトプットする機会を作りたい。伝承ロードの今後の取り組みに復興大学の実績も残る形としたい。
- 施設を中心とした周辺の紹介や、モデルコースの充実を望みます